

防災避難訓練

 日頃からの積み重ねが大切です

5月18日（水）、避難訓練を開催しました。今回は、地震による火災発生を想定し、地震発生時の対応や避難経路等について確認しました。

担任の先生の指示のもと、焦らずに落ち着いて避難することができました。今回の訓練では避難経路の確認をすることが目的の一つでしたが、いざという時には、あらかじめ決められている避難経路が使用できないことも想定されます。その時の状況に合わせて、各自が判断できるようになることも大切です。

訓練の後半では、常陸大宮市役所の危機管理課よりお借りした防災用品（簡易テント、簡易トイレ、避難所用パーティション等）を使って様々な活動を行いました。実際に体験してみなければわからないこともたくさんありました。災害時には、今回の貴重な体験をぜひ役立ててほしいと思います。



簡易テントや簡易トイレを実際に組み立て、避難所の雰囲気を経験しました。避難所用のパーティションは避難所においてプライバシーを守るために効果的であることも実感することができました。また、簡易テントは、組み立てるよりも片づける方が難しいことが分かりました。

常陸大宮市の危機管理課の方からは、「実際の避難所では、高校生の皆さんの協力がとても重要である」ことについてお話がありました。今回のような訓練を継続し、地域の貴重な人材となってほしいと期待の言葉をいただきました。

